

地域医療研修 研修レポート

名古屋第一赤十字病院 研修医

今回地域研修として 1 か月の間、新城市民病院で実習させて頂きましたので、それを報告させて頂きます。

新城市民病院での実習は主に総合内科の初診、救急者の対応、及び院外実習という 2 つに分けられます。僕が働いている名古屋第一赤十字病院の総合内科の研修では、研修医と指導医 1 人で回しており上伸に時間をかけることが難しい、また盲目的に検査をだしてしまう、すべての患者さんを専門家に降るために今後のフォローに介入できない、振り返りも研修医主体でやっているのではなかなか症例にふみこめない、といった欠点があります。それに対して新城市民病院では、患者さんを初期から入院まで継続的に見続けることができる、また患者さん全員を対象とした振り返りと自分の症例のみオーブンの先生と行う振り返りとの 2 種類あるため、それぞれ新たな指摘があり症例に対して深く踏み込める、という特徴があり、総合内科の勉強をする上でとても勉強になりました。また先生方は専門医が少なく心不全から肺炎、さらには脳梗塞や大腿骨頸部骨折にわたったとても広い分野の患者さんを診ており、その知識の深さ及び UP toDATE などを生かし他日々の診療にはとてもインスピレーションを受けました。UP toDATE の使い方など、今後の診療に学ぶべきことがとても多い実習となりました。

また院外実習として作出診療所、訪問看護、訪問リハビリ、新城助産所など今までなかなか興味をいだかなかったところに行かせて頂き、地域医療がどのように行われているのか、それぞれの場所で医師はどのように必要とされているのか、また今後高齢者が増えていく中でそれぞれの職員の方に話を聞くことができとても貴重な経験をさせていただきました。また医療社会事業部の方からは、国家試験で少し法律を覚えてだけの介護保険について分かりやすく説明して頂き、また実際の入院患者さんの主治医意見書を書いたりなど、今後必要となる知識をたくさん得ることができました。

今回の地域研修を開始するにあたって、当初の目標を都市部ではおろそかになってしまいがちな、疾患を診るだけでなく患者さん自身と真摯に向き合うこと、と設定し 1 か月間頑張ってきました。初診担当の先生が勉強になりそうな症例を振り分けてくださり、また時間をかけてしっかりと問診を取ることができたのは、とても充実した時間でした。また実際に患者さんの話を聞き、身体診察をすることで患者さんの不安を取り除くことができた症例もあり、医は仁術であることを改めて実感しました。今後第一赤十字に戻ってからも、新城市民で得た気持ちを忘れずに、真摯に患者さんに迎えたらと考えております。

最後になりますが、1 か月という短い時間の中で、問診・身体診察といった基礎的なことを教えて頂いた先生方をはじめ、リハビリの先生、日赤よりも優しい看護師の方々、市の職員の方々には大変お世話になりました。名古屋より少し寒いことを除けば、昼も夜も大変充実した日々を送ることができ、本当にありがとうございました。